

### 和辻哲郎文化賞

# 勝又さん 宗悦と英詩人分析

## 勝又さん 私小説は民族文学

姫路市が5日に発表した第28回和辻哲郎文化賞の受賞作で、一般部門は法政大学名誉教授の勝又浩さん

(77)横濱市IIの「私小説千年史 日記文学から近代文学まで」(勉誠出版)が132点の推薦の中から、

学術部門は東京大学大学院総合文化研究科准教授の佐藤光さん(46)東京都三鷹市IIの「柳宗悦とウィリアム・ブレイク 環流する『肯定の思想』」(東京大学出版会)が82点の推薦の中からそれぞれ選ばれた。

全国の大学や新聞社、一品について、一般部門は梅

原猛さん(哲学者)ら3

品について、一般部門は梅

原猛さん(哲学者)ら3

品について、一般部門は梅

原猛さん(哲学者)ら3

品について、一般部門は梅

原猛さん(哲学者)ら3

品について、一般部門は梅

原猛さん(哲学者)ら3

品について、一般部門は梅

原猛さん(哲学者)ら3



一般部門の勝又浩さん



学術部門の佐藤光さん

人、学術部門は鷲田清一・京都市立芸術大学学長ら3人が選考した。

勝又さんの作品は、「私小説」が、短歌や俳句と同じように長い歴史を持つ民族文学であると解き明かしたことが評価された。受賞した勝又さんは「最近、自分の考えが文芸とも批評とももれているようで、良いのか悪いのか迷うところがあった。そんなところへ今度の評価で、大きな励みになった」とのコメントを出した。

佐藤さんの作品は、日本

民芸の良さを見いだした思想家・柳宗悦と、英国の詩人・画家のウィリアム・ブレイクに関心を持ち、ブレイクから柳が受けた影響を分析したことなどが評価された。佐藤さんは「英

資料を調査し、事実を一つ一つ積み重ねることによって、本書が誕生しました。このような地味な実証研究を評価していただき、心よりありがとうございます、うれしく思います」とコメントした。

佐藤さんの作品は、日本

民芸の良さを見いだした思想家・柳宗悦と、英国の詩人・画家のウィリアム・ブレイクに関心を持ち、ブレイクから柳が受けた影響を分析したことなどが評価された。佐藤さんは「英

資料を調査し、事実を一つ一つ積み重ねることによって、本書が誕生しました。このような地味な実証研究を評価していただき、心よりありがとうございます、うれしく思います」とコメントした。

佐藤さんの作品は、日本

民芸の良さを見いだした思想家・柳宗悦と、英国の詩人・画家のウィリアム・ブレイクに関心を持ち、ブレイクから柳が受けた影響を分析したことなどが評価された。佐藤さんは「英

資料を調査し、事実を一つ一つ積み重ねることによって、本書が誕生しました。このような地味な実証研究を評価していただき、心よりありがとうございます、うれしく思います」とコメントした。

佐藤さんの作品は、日本

民芸の良さを見いだした思想家・柳宗悦と、英国の詩人・画家のウィリアム・ブレイクに関心を持ち、ブレイクから柳が受けた影響を分析したことなどが評価された。佐藤さんは「英

資料を調査し、事実を一つ一つ積み重ねることによって、本書が誕生しました。このような地味な実証研究を評価していただき、心よりありがとうございます、うれしく思います」とコメントした。

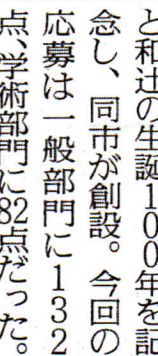
2016年(平成28年)2月6日(土曜日)

# 勝又、佐藤さん 受賞喜ぶ

## 和辻哲郎文化賞 姫路で来月授賞式



姫路市の「第28回和辻哲郎文化賞」が発表された5日、一般部門の勝又浩・法政大名誉教授(77)と写真上



と、学術部門の佐藤光・東京大大学院総合文化研究科准教授(46)と下がそれぞれ、喜びのコメントを寄せた。

勝又さんの「私小説千年史 日記文学から近代文学まで」は、二流文学のよりに扱われてきた「私小説」が短歌や俳句と同様、長い歴史を持つ日本が誇る伝統文学であることを解き明かした。勝又さんは「最近、自分の考えていることが文芸とも批評ともされているように、思いがけない方角から評価を受け、大きな励みになった」とコメント。

佐藤さんの「柳宗悦とウイリアム・ブレイク 環流する『肯定の思想』」は、民芸研究家で思想家の柳と、18世紀のイギリスの詩人で画家のブレイクに共通する「肯定の思想」について、日英の資料から検証した。佐藤さんは「図書館をはい回るようにして関係資料を調べ、事実を一つひとつ積み重ねた。地味な実証研究を評価していただきうれしい」と喜びの声を寄せた。

3月6日に市民会館(総社本町)で行われる授賞式では、作家の荒俣宏さんが「自然と文学」と題して記念講演を行う。希望者は往復はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入し、〒670・8501 姫路市安田4の1 姫路市役所内姫路文学館へ。定員700人で19日締め切り。問い合わせは姫路文学館(079・2933・8228)。

# 和辻哲郎文化賞 姫路市が発表 勝又浩さん、佐藤光さん受賞

## 私小説の伝統分析 / 柳宗悦と英詩人比較



勝又浩さん



佐藤光さん

審査した。

「私小説千年史」

は、「私小説」が短歌や俳句と同様に長い歴史を持ち、日本が誇る文学であることを多角的に解き明かした。

「柳宗悦」は、民芸運動を起こした柳宗悦と英国の詩人ブレイクの共通性を、比較文化論的に分析した。

授賞式は3月6日午後1時半から姫路市市民会館大ホールで。作家の荒俣宏さんが記念講演する。無料。参加希望者は、往復はがきに郵便番号、住所、名前、電話番号、授賞式参加希望と書き、〒670-18501 姫路市安田4の1、姫路市役所内姫路文学館(☎079・293・8228)へ。定員700人で、応募多数の場合は抽選。締め切りは2月19日消印有効。(山崎史記子)

姫路市は5日、第28

回和辻哲郎文化賞の受賞作を発表した。文化

一般の優れた著作に贈られる一般部門は、文

芸評論家で法政大名誉教授の勝又浩さん(77)

横浜市IIの「私小説

「ひょうご」総合

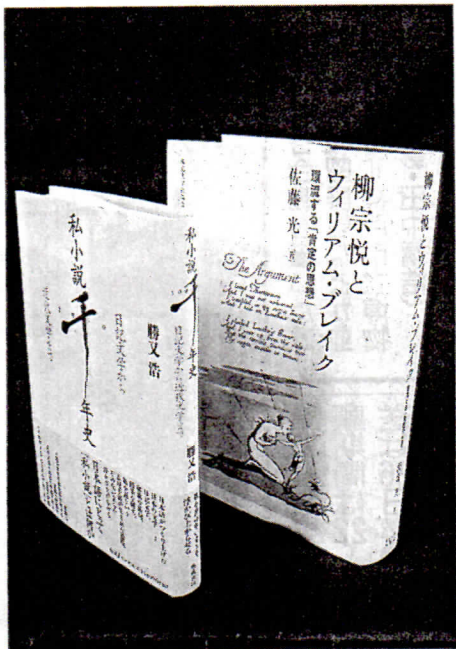
# 視点や分析に高評価

## 和辻哲郎文化賞発表

姫路市が5日に発表した第28回和辻哲郎文化賞。77歳のベテラン研究者の独創的な視点や、46歳准教授のいっぺん分析から生まれた作品を、選考委員がそれぞれ高く評価した。(3面参照)

一般部門で「私小説千年史 日記文学から近代文学まで」を書いた勝又浩さんは、日本近代文学が専門。小説家・中島敦の研究で、群像新人文学賞評論部門などを受けている。

### 勝又さん 独創的な文学論 佐藤さん 緻密に資料研究



和辻哲郎文化賞に選ばれた書籍

受賞作では「本格小説」に対して格下に扱われがちな「私小説」のルーツを、平安時代以降の日記文学、短歌、俳句などに求めて分析。風土と言語が育んだ日本文化の一つ

選考委員の梅原猛氏は「大胆な文学論」と高く評価。勝又さんは迷いながら評論を続けてきたといい、「思いがけない方向からの評価」と受け止

だと論じた。また、伊藤桂一や志賀直哉ら近代以降の作家を挙げ、私小説の多彩さを検証した。

学術部門「柳宗悦とウィリアム・ブレイク環流する『肯定の思想』」を書いた佐藤光さんは大阪出身。京都大の卒業論文で英国の詩人で画家、ブレイクに取り組んで以来、研究を続けてい

る。ブレイクの研究にいち早く取り組んだ柳宗悦と対比し、両者の共通点を日英の詳細な関係資料から明らかにした。佐藤さんは「図書館をはい回るようにして調査した」と語り、地道な研究への評価に感謝の言葉を寄せた。

(山崎史記子)